

世界初の中国語マルチメディア学習ソフト

互動中国語

互动汉语

標準語・普通话

本书编写组 編著

歇后語と典故

歇后语与典故

中国語の先生をマイホームに！

互动汉语老师带回家！

CIPG 中国国际出版集团
CHINA INTERNATIONAL PUBLISHING GROUP

華語教育出版社
SINOLINGUA

華文 北京华文盛世教育发展有限公司
BEIJING HUAWENSHENGSHI EDUCATION DEVELOPMENT CO., LTD.

www.InteractiveChinese.com

HÙDòng HÀNYǔ
互动汉语

互動中國語

YUèDÚ JiàOCÁI

阅读教材

閱讀教材

XiēHòUYǔ Yǔ Diǎngù

歇后语与典故

歇后語 と 典故

本书编写组 编



华语教学出版社
SINOLINGUA

目 录

目 录
目 次

歇 后 语
歇后語

- 矮子爬楼梯——步步登高 身長の低い人が階段を上る—一步一步上る…………… 1
- 半天空里挂口袋——装疯(风) 空中に袋が昇る—正気でないふり…………… 1
- 半夜里偷桃吃——找软的捏 夜中には桃を盗んで食う—柔らかい桃をつかむ…………… 1
- 扁担没扎——两头失塌 天秤棒は固定しない—両端のものは落ちる…………… 2
- 擦粉进棺材——死要面子 化粧して、棺おけに入る—死んでまで面子を立てる…………… 2
- 茶壶里煮饺子——倒不出来 急須で餃子を煮る—注ぐことができない…………… 2
- 城门里扛竹杠——直来直去 竹を担いで、城門を通る—真つ直ぐ行つて真つ直ぐ戻る… 3
- 窗户上的纸——一戳就破 障子紙—突き刺されれば破れる…………… 3
- 从梢开始吃甘蔗——越吃越甜 先端からさとうきびを食べる—食べれば食べる
ほど、うまくなる…………… 3
- 打开天窗——说亮话 窓を開けて—「明かるい」話をする…………… 4
- 打破砂锅——问(墨)到底 とことんまで問いただす…………… 4
- 大姑娘上花轿——头一回 娘が嫁入りかごに乗る—初めてである…………… 4
- 大寒吃雪条——凉了心 大寒の時、雪を食べる—がっかりする…………… 5
- 大热天穿棉袄——不是时候 夏に綿入れの上着を着る—時機ではない…………… 5
- 带刺的鲜花——好看是好看,有点扎手 有刺の花—綺麗なことは綺麗だが、とげ
がある…………… 5
- 电线杆当筷子——大材小用 電柱を箸とする—優れた才能をつまらないことに使う… 6
- 刀尖上翻筋斗——玩命 刀の上でとんぼがえりをする—無謀…………… 6
- 放虎归山——自留后患 虎を放つて山に帰す—禍を将来に残す…………… 6
- 擀面杖吹火——一窍不通 麵棒で火を吹く—なにも分かつてない…………… 7
- 狗咬吕洞宾——不识好人心 犬が呂洞賓をかむ—人の善悪がつかない…………… 7
- 棺材里伸手——死要钱 棺おけから手を伸ばす—死んでもお金が欲しい…………… 7
- 锅里煮娃娃——熟人 鍋の中で赤ちゃんを煮る—知り合い…………… 8
- 韩信用兵——多多益善 韓信の用兵—多ければ多いほどよい…………… 8

互动汉语

和尚打伞——无法(发)无天	お坊さんが傘を持つ—天理をわきまえない……………	8
和尚的脑壳——没法(发)	お坊さんの頭—仕方がない……………	9
黄鼠狼给鸡拜年——没安好心	いたちがにわとりのところに年賀に行く—ろ くな考えはもっていない……………	9
贱陀螺——不打不转	こま—まわさなければ回転しない……………	9
姜太公钓鱼——愿者上钩	姜太公が魚を釣る—自発的なものだけを集める……………	10
脚底上擦油——溜了	足元に油を拭く—こっそり抜け出す……………	10
叫化子拾元宝——心里乐滋滋的	こじきが金を拾う—大喜び……………	10
井里的蛤蟆——没见过大天	井戸の中の蛙—天を見たことがない……………	11
孔夫子搬家——净是输(书)	孔子の引越—本ばかりである—負けばかりになる…	11
癞蛤蟆想吃天鹅肉——痴心妄想	がまが白鳥の肉を食いたがる—不可能のこと を妄想する……………	11
烂透的倭瓜——捧不起	すっかり熟したかぼちや—持たない……………	12
老虎的屁股——摸不得	虎の尻—触れない……………	12
老牛拉破车——慢慢吞吞	老いた牛が壊れた車を引く—のろのろと……………	12
老鼠钻牛角——此路不通	鼠が牛の角に入り込む—頼っていくところがない……………	13
老王卖瓜——自卖自夸	王さんが瓜を売る—手前味噌……………	13
聋子放鞭炮——散了	耳が聞こえない人が爆竹をならす—解散する……………	13
马尾串豆腐——提不起来	馬の尾で豆腐を通す—下げることができない……………	14
猫哭老鼠——假慈悲	猫は鼠の不幸を泣く—わざと善意のふりをする……………	14
门缝里瞅人——把人看扁了	門の隙間から様子をうかがう—人を軽蔑する……………	14
木匠戴枷——自作自受	大工に首輪をはめる—自業自得……………	15
泥菩萨过河——自身难保	泥で作った菩薩が川を渡る—本尊自身がくずれてし まって衆を救うことはできない……………	15
菩萨背后一个窟窿——妙(庙)透了	菩薩の後に穴がある—きわめてすばらしい…	15
七月半烧纸钱——哄鬼	七月十五日に紙銭を焼く—鬼をあやす……………	16
骑驴看书——走着瞧	ロバに乗りながら本を読む—歩きながら見る……………	16
旗杆上挂灯笼——高明	旗ざおにちょうちんを掛ける—優れている……………	16
切菜刀剃头——太悬乎	庖丁で髪を切る—危ない……………	17
清水河捞鱼儿——看得一清二楚	澄みの河で魚を捕る—ばつかり見える……………	17
热锅上的蚂蚁——团团转	熱い鍋の上のあり—慌てふためく……………	17
肉包子打狗——有去无回	肉まんじゅうで犬を打つ—なしのつぶて……………	18
三尺长的梯子——搭不上言(檐)	三尺のはしご—答えられない……………	18
三年不漱口——一张臭嘴	三年間口を漱がない—にくまれ口……………	18

目 录

十五只吊桶打水——七上八下	十五のバケツを用いて、水を汲む—七つは上に 八つは下に……………	19
寿星上吊——嫌命长	老人星は首をつる—寿命が長いことを嫌う……………	19
天上的风筝——叫人牵着走	空を飛ぶたこ一人に引張られる……………	19
铜板做眼睛——认钱不认人	銅錢を目とする—金ばかりを考えて、人を考えない ……………	20
土地庙里长草——荒(慌)了神	神社に草が生える—慌しくなる……………	20
脱了毛的牙刷——有板有眼	毛のない歯ブラシ—表現が真に迫っている……………	20
外甥打灯笼——照旧(舅)	甥がちょうちんをさしかける—(おじさんを照らす) もとどおり……………	21
媳妇回娘家——熟门熟路	妻は実家に戻る—道をよく知っている……………	21
瞎子点灯——白费蜡	盲人が明かりをつける—無駄になる……………	21
瞎子过独木桥——死路一条	盲人が丸木橋を渡る—絶望の一本道……………	22
小孩吃泡泡糖——吞吞吐吐	子供がガムをかむ—話が要領を得ない……………	22
小和尚念经——有口无心	小僧が読経する—答えたが重視されない……………	22
泄了气的皮球——瘪了	パンクしたゴムマリー—しよげる……………	23
雪水煮豆腐——好不冷淡	雪から融けた水で豆腐を煮る—冷淡でたまらない……………	23
秀才遇见兵——有理说不清	秀才が兵士に会う—道理があっても分からせるこ とができない……………	23
阎王娘怀孕——一肚子鬼胎	閻魔大王のお奥さんがみごもる—一人に言えない秘密 ……	24
要饭的借算盘——穷有穷打算	こじきが算盤を借りる—貧しいが計画もする……………	24
一头撞在南墙上——死不回头	頭を南壁にぶつける—死んでも気が変わらない ……	24
一张纸画个鼻子——好大的脸	一枚の紙の上に鼻だけが書いてある—図々しい ……	25
张飞吃豆芽——小菜一盘	張飛がまめもやしを食べる—易しすぎることに……………	25
掌心上出毛——一把老手	手の内側に毛が生える—ベテラン……………	25
纸团里的火——包不住	紙の中の火—かくしだてすることができない……………	26
竹筒子倒豆——全倒光了	竹筒から豆をあける—全部話す……………	26
中秋节的月亮——正大光明	中秋の月—公明正大……………	26
煮熟的鸭子飞上天——怪事一桩	よく煮えた家鴨が空を飛ぶ—不思議なこと……………	27

典 故 典 故

安乐窝	安樂な場所……………	28
-----	------------	----

鞭长莫及 長鞭馬腹に及ばず……………	28
百闻不如一见 百聞は一見に如かず……………	29
班门弄斧 魯班の門前で斧を振るう……………	29
杯弓蛇影 杯中の蛇影……………	30
背水一战 背水の戦……………	30
壁上观 砦の壁……………	31
不耻下问 質問を恥じない……………	31
不为五斗米折腰 五石の稲のために腰をかがめない……………	32
成也萧何,败也萧何 成功も蕭何のため、失敗も蕭何のため……………	32
才高八斗 才能が八斗のように高い……………	33
唇亡齿寒 唇亡びて齒寒し……………	33
雕虫小技 取るに足らぬ技能……………	34
东窗事发 悪事が露顯する……………	34
东山再起 東山に再起す……………	35
多行不义必自毙 不義なことをすれば、必ず自分を殺すことになる……………	35
尔虞我诈 互いに騙しあう……………	36
风马牛不相及 風馬牛も相及ばず……………	36
负荆请罪 荊を負って罪を請う……………	37
黄梁一梦 高粱の一炊の夢……………	37
割鸡焉用牛刀 鶏を殺すには牛刀は要らない……………	38
鼓盆之戚 盆を叩く悲しみ……………	38
顾左右而言他 左右を觀て他の事を言う……………	39
挂羊头卖狗肉 羊頭を掲げて、狗肉を売る……………	39
鸿门宴 鴻門の会……………	40
既来之,则安之 そこに来た以上はそこに落ち着く……………	40
江郎才尽 江郎の文才はもう極点に至った……………	41
狡兔三窟 狡兎三窟……………	41
金屋藏娇 金の屋で美人を住まわせる……………	42
锦囊妙计 錦の袋の中に入れた高明な計略……………	42
狡兔死,走狗烹 狡兎死して、走狗烹る……………	43
开卷有益 卷を開ければ益あり……………	43
苛政猛于虎 悪政は虎の害より悪い……………	44
老马识途 老馬道を知る……………	44
乐不思蜀 楽しみて蜀を忘れる……………	45

目 录

两袖清风	両の袖を風が吹き抜ける	45
洛阳纸贵	洛陽の紙が値段高い	46
毛遂自荐	毛遂自らすすむ	46
门可罗雀	門前雀羅を張る	47
匹夫之勇, 妇人之仁	無知無謀の小勇、婦人の仁愛	47
牛郎织女	牧童と機織り女	48
破镜重圆	破鏡再び合う	48
庖丁解牛	庖丁は牛を解剖する	49
泼水难收	覆水収めがたし	49
奇货可居	奇貨居くべし	50
前车之鉴	前車の覆るは後車の戒め	50
歧路亡羊	多岐亡羊	51
前倨后恭	初めは傲慢な態度で後で丁寧になる	51
千里之行, 始于足下	千里の道も第一歩から	52
青云直上	まっしぐらに大空に昇る	52
人为刀俎, 我为鱼肉	刀俎魚肉	53
身在曹营心在汉	身は曹の営所にいながら心は漢にいる	53
上下其手	手管をもてあそぶ	54
司空见惯	司空の見慣れること	54
死灰复燃	消えた灰が再び燃え出す	55
桃花源	桃花の郷	55
徒劳无功	無駄な骨折りをしただけ何の功利にもならない	56
完璧归赵	宝玉を損なわずに趙に返す	56
握发吐哺	髪を握り飯を吐く	57
无面目见江东父老	江東の同郷に出会うのが恥ずかしい	57
下笔成章	筆を落ちると文章ができる	58
先发制人	先んずれば人を制す	58
相濡以沫	互いに泡を吐いて濡れる	59
孺子可教	若者は教えられる	59
燕雀焉知鸿鹄之志	燕雀安んぞ鴻鵠の志を知んや	60
项庄舞剑, 意在沛公	項庄は劍舞にかこつけて沛公を殺そう	60
萧规曹随	曹參は蕭何の規則に沿う	61
小巫见大巫	未熟な巫子は老練な巫子に出会う	61
养虎遗患	虎を養って禍根を残す	62

互动汉语

一字千金	一字千金	62
余勇可贾	元気が有り余っている	63
鱼目混珠	魚の目を真珠に混ぜる	63
羽翼已成	羽はもうそろえた	64
约法三章	法三章	64
越俎代庖	俎を越えて庖に代る	65
运筹帷幄	帷幄の中で策をそれぞれめぐらす	65
逐客令	客を追い出す命令	66
坐山观虎斗	山で虎の戦いを観る	66
作法自毙	自ら作った法で自ら命を落とす	67
得心应手	心得手慣れ	67



矮子爬楼梯——步步登高

矮个儿的人,每爬一步梯子,就登高一节。再往上爬就更高一节,这即为“步步登高”。

这个歇后语通常用来形容官场上的平步青云,地位高升等情况,或指人的生活越来越好,不断提高等。

身長の低い人が階段を上る一步一步上る

身長の低い人は、階段を一步ずつ登って、一階ずつ高くなる。それは「一步一步高く登る」。

これは一般にスムーズに出世、昇進すること。あるいは、生活が段々とよくなることを言う。

半天空里挂口袋——装疯(风)

在半空中挂口袋儿,要装什么东西呢?进去的只能是呼呼的风了。也就是用来装风。“风”与“疯”同音,运用谐音的方式也就变成了“装疯”。

这则歇后语指人故意装成疯疯癫癫的样子。

空中に袋が昇る—正気でないふり

空中に袋があっても、何を入りたいのだろうか?風だけではないか。中国語の「風」の発音は「瘋」と同じなので、「気がつかない」という意味になった。

正気でないふりをすることを言う。



半夜里偷桃吃——找软的捏

生桃子又酸又硬不好吃,熟桃子甜甜的,软软的很好吃。在半夜三更去偷桃子,分不清哪个是熟,哪个是生。只能用手捏一下,如果是软的那就是熟桃子了。

这个歇后语比喻专门找软弱的欺负。

夜中には桃を盗んで食う

—柔らかい桃をつかむ

熟してないの桃は酸っぱくて固いが、熟した桃は甘くて、柔らかい。夜中に桃を盗んでも、どれが熟したのか分からないから、指でつかんで、柔らかいのが熟した桃と分かる。

弱々しい者だけをいじめることを言う。





扁担没扎——两头失塌

用扁担来挑东西,如果扁担的两头扎不住,那么在使用的时
候,两头的东西就很容易滑下去,故称作“两头失塌”。

这则歇后语比喻两边都想收获,结果却是两头都落空。

天秤棒は固定しない—両端のものは落ちる

もし天秤棒の両端を固定しなければ、両端のものは落ち
やすい。「両端滑」と言う。

両側を収穫しようとするが、結果はかえって全部失敗す
ることを言う。

擦粉进棺材——死要面子

人已经死了,就要睡到棺材里去了,却还要往脸上擦胭脂
抹粉的,都到了这时候还那么在乎这张脸。分明是“死要面子”
吗。

这个歇后语指条件已经不允许了,还要极力装扮自己,掩
盖不光彩的面目,坚持那些表面看起来体面的东西。一般作为
对维护虚假行为的嘲讽。



化粧して、棺おけに入る

—死んでまで面子を立てる

人は死ぬと、棺おけに入る前には化粧する。ここまで顔を気にかけるのは、「死んでま
で面子を立てる」ということ。

条件は既に足りないが、極力自分の短所を隠し、表面で体面を取り繕う。一般に偽り事
を諷刺する時に使う。

茶壶里煮饺子——倒不出来

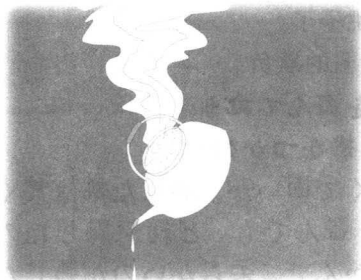
把饺子放到茶壶里煮,等到煮熟要倒出来时,却因为口子太小
而不能把饺子倒出来。

比喻那些肚子里很有才学或者很想讲话的人,却不能把他的
才学或想法表达出来。

急須で餃子を煮る—注ぐことができない

餃子を急須で煮ると、注ぐ時、口が小さすぎるので、注げ
なくなる。

学問はある、あるいは講話をしたい人が自分の考え方をうまく教えられない場合を言
う。





城门里扛竹杠——直来直去

扛竹竿从城门出入,由于竹竿长,城门窄,只能是直着进去,直着出来。

这个歇后语主要指人的性格直率,说话办事直截了当,不拐弯抹角。

竹を担いで、城門を通じる—真っ直ぐ行つて真っ直ぐ戻る

竹を担いで、城門を通ると、竹が長くて、城門は狭いので、真っ直ぐ行つて真っ直ぐ戻るしかない。

意味は人間の性格は率直で、ものの言い方や行動がずばりとして、単刀直入であることをいう。

窗户上的纸——一戳就破

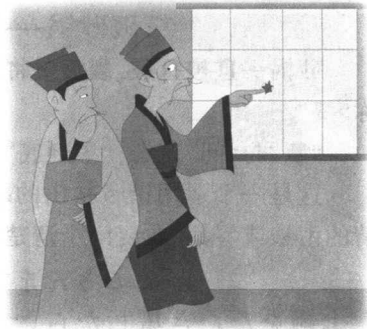
很早以前,还没有发明玻璃,人们就用很薄的纸来糊窗户。可是纸又薄又软,只要用手一戳就破了。

这个歇后语的本意指窗户纸很薄,指头轻轻一点就破了。后多用来比喻稍一指点就明白。

障子紙—突き刺されば破れる

昔、ガラスのない時代に、人は障子紙を用いた。しかし、このような紙は薄くて柔らかいので、指で突き刺せば破れる。

意味は紙が薄くて柔らかいから、指で突き刺させば破れる。少し指導されたらすぐ分かるという喩え。



从梢开始吃甘蔗——越吃越甜

甘蔗的顶部不算甜,但越往下吃口感就越甜,人吃甘蔗时,从梢开始,那吃起来味道自然是越来越有味儿了。人们对生活的希望大概也是这样吧。

此歇后语比喻境遇越来越令人满意。

先端からさとうきびを食べる

—食べれば食べるほど、うまくなる

さとうきびの先のほうはあまり甘くはないが、食べれば食べるほど甘くなる。人間の生活への希望はそのようなものだろう。

生活状況がだんだんよくなるという喩え。





打开天窗——说亮话

说话的时候打开天窗,你不必半遮半掩的,我也不必躲躲闪闪的,而且这时候,光线更亮了,看得更清楚,这样说出的话自然就是“亮话”了。

“打开天窗——说亮话”这个歇后语常用来指直截了当地把事情说明白。

窓を開けて—「明かるい」話をする

話をしている時、窓を開ければ、相手は遠回しに言う必要はないし、こちらもこそそしなくてよい。この時、明かりはさらに明るくなり、「はっきりした」話をしたくなる。

直接話す。あるいはざつくばらんに話すことを言う。

打破砂锅——问(璽)到底

砂锅一旦被打破,裂痕就将从上面一直裂到下面。这些裂痕称“璽”。

“璽”与“问”谐音,“璽到底”即成为“问到底”。

这是一个运用谐音得出的歇后语。它的意思是为了寻找事情的由来或答案,非要问个清楚不可。

とことんまで問いたです

土鍋をたたき壊したら、とことんまでひび割れする。

それを「璽」という。「問い」の発音は「璽」と同じなので、転じて、「問いたです」ということになる。

事情の原因や問題点をみつけるために、はっきり問いたさなければいけない。



大姑娘上花轿——头一回

在过去,姑娘出嫁时都要坐上花轿,因此对于每个大姑娘来讲,坐花轿都是第一回。

这个歇后语的意思是:初次接触某件事物,缺少经验。

娘が嫁入りかごに乗る—初めてである

昔、花嫁は嫁入りかごに乗るという習慣があった。花嫁にとっては、それは初めてのことである。

初めてある事をするので、経験が足りないことを言う。





大寒吃雪条——凉了心

大寒是我国的一个节气,也是一年里天气最冷的时候。大寒的时候吃雪条,那可真是凉上加凉,一直凉到心里头。

这则歇后语常用来形容受挫折或失望后情绪低落意志消沉。

大寒の時、雪を食べる——がっかりする

大寒は中国の節気である。それは一年の中で一番寒い時期である。そのときは、雪を食べれば、寒さが増して、心まで寒くなる。

失敗や挫折などにあつて、気持ちが萎える様子を言う。

大热天穿棉袄——不是时候

棉袄有很好的保暖功能,一般在冬天才穿,如果在炎热的夏天穿上它,那也太不合时宜了。

这个歇后语的意思是说:说话办事选择的时机不合适。

夏に綿入れの上着を着る——時機ではない

綿入れの上着を着れば、暖かくなるので、よく冬に着る。もし、夏に着れば、時宜に適しない。

話しや仕事をする時宜が適しないことを言う。



带刺的鲜花——好看是好看,有点儿扎手

艳丽的鲜花让人喜爱,总想伸手摘一朵,但枝上有刺,可不是那么容易就可以摘得到手的,一不小心就会扎了手。那伤痛只有自个儿知道是怎么样的一种感受了。

比喻姑娘虽然长得好看,但又不好惹或不易接近。

有刺の花——綺麗なことは綺麗だが、とげがある

綺麗な花はみんな好きだが、手を伸ばして採ろうとすると、とげがあるので、そう易しくは採れない。気をつけなければ、手が刺される。その痛さは自らだけが知る。

美人は親しくしにくいという喩え。



电线杆当筷子——大材小用



吃饭要用筷子,人人皆知,但吃饭时偏偏不用筷子,而要用又粗又大的电线杆儿,这不是把大材料当成小材料用了吗?

这则歇后语指一些不合理的安排,本来才能突出可以干大事情的,却被安排做一些小事,从而埋没了这种突出的能力。

電柱を箸とする—優れた才能をつまらないことに使う

食べる時、箸を使うのが普通である。太くて大きい電柱を使うのは、有用の材料をつまらない用途に使うことになる。

不適切な配置で、元来、重要なことに使われる才能をつまらないことに使うと、才能を埋もれさせてしまう。

刀尖上翻筋斗——玩儿命

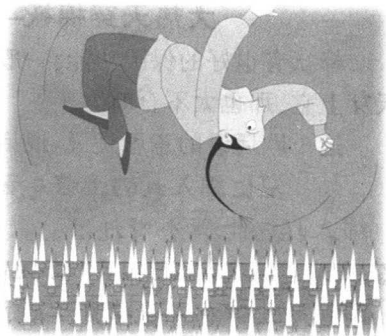
在刀尖上翻筋斗可不是闹着玩儿的,一不小心就可能受伤甚至丧命,假如真的有人在上面翻,那是拿生命去冒险,这可是“玩儿命”呀。

这个歇后语常指用生命作代价去干一些冒险的事情,随时都有可能丧命。

刀の上でとんぼがえりをする—無謀

刀の上でとんぼがえりをすれば、気をつけないと、命を失うことさえある。それは無謀というものだろう。

命を代価に冒険をすること。いつか死ぬかわからない。



放虎归山——自留后患

老虎非常凶猛,有时还会伤及到人,好不容易才把老虎捉住,又轻易地把它放回山里,以后老虎肯定还会出来伤人,这不是自己给自己留下了后患吗?

此歇后语指对敌方或事件处理得心慈手软,不果断不恰当,是要给自己留下祸患的。

虎を放って山に帰す—禍を将来に残す

虎は凶暴で、人間を食べることもある。やっとな虎を捕まえても、簡単に山に帰せば、将来虎は再び人を襲うに決まっている。それは禍を将来に残すことではないか?

敵あるいは仕事を処理する時、気が弱いと、自分にとって、禍を将来に残すということになる。



擀面杖吹火——一窍不通

擀面杖是一种实心、没有通气孔的木棍,用来擀面。如果硬要拿它用来吹火,当然不能把火吹旺。

“擀面杖吹火——一窍不通”,指对事物一点儿也不懂,是个外行。

麵棒で火を吹く一なにも分かってない

麵棒は中のつまった木棒で、小麦粉のこねたものをのばすものである。もし麵棒で火を吹けば、当然火をおこせない。

物事がなにも分かってない。門外漢である。



狗咬吕洞宾——不识好人心

吕洞宾是民间传说中八仙中的一位“神仙”,也是一个行侠仗义的好心人,他经常惩治坏人帮助穷人,深得人间百姓崇敬。狗却不认识吕洞宾,把他当坏人咬,所以说它“不识好人心”。

人们用这个歇后语来指好坏不分,别人的好心却被当成恶意。

犬が呂洞賓をかむ一人の善悪がつかない

呂洞賓は民間伝説の「八仙」の一人で、義侠心があり、良い人である。よく悪人を処罰して、弱者を助けたので、人々に敬愛された。しかし、犬は呂洞賓を知らないので、悪人と思って噛んだ。だから、犬は人の善悪がつかない。

人の善悪がつかないので、他人の好意を悪意とうけとることを言う。



棺材里伸手——死要钱

人死了,装到棺材里,还伸出手来向人要钱,这不就是“死要钱”吗?

人们用这个歇后语来指那些时时想发财的财迷。

棺おけから手を伸ばす一死んでもお金が欲しい

人は死んで、棺おけに入れられても、まだ手を伸ばしてお金を頼む。それは「死んでもお金が欲しい」のではないだろうか。

金もうけに狂った人を言う。





锅里煮娃娃——熟人

把娃娃放到锅里面煮,过不久,打开锅盖看时,娃娃被煮熟了。当然这里只是假设,谁又忍心真的去煮娃娃呢。这里“熟”有两种意思,一是指煮熟,二是指熟悉。

这个歇后语是运用意思理解上的转换而成,指的是非常熟悉的人。

鍋の中で赤ちゃんを煮る—知り合い

赤ちゃんを鍋の中で煮れば、すぐ赤ちゃんは煮立ってしまう。それは当たり前のことで、誰もそんなことをしない。中国語の「熟」には二つの意味がある。一つは「煮える」、二つ目は「よく知っている」。

これが転じて、知り合いを表す。

韩信用兵——多多益善

韩信是汉朝的一员大将,他非常擅于带兵。有一次韩信带兵出征,皇帝问他要带多少兵,他说:“当然是越多越好了,这样才有利于作战嘛。”

后来,人们就用“多多益善”来指使用或者将得到的东西,越多越好。

韓信の用兵—多ければ多いほどよい

韓信は漢の将領で、用兵が上手である。戦争の前に、「何人の兵士が欲しい?」と聞かれると、彼は「勿論多ければ多いほどよい。なぜなら、そうすると、作戦が有利になる」と答えた。

使えるものが多ければ多いほどよいことを言う。



和尚打伞——无法(发)无天

和尚的头不留头发,可以说“无发”,“发”与“法”同音,“无发”变成了“无法”。和尚打着伞,把天遮住了,变成了无天,合成即为“无法无天”。

人们常用这个歇后语来指不受法律约束,毫无顾忌的胡作非为。



お坊さんが傘を持つ—天理をわきまえない

お坊さんは髪がないから、「無髪」と言われる。中国語では、「髪」と「法」は発音が似ているので、「無法」になる。お坊さんが傘を持つと、天を遮って、「無天」になる。「無法無天」は「天理をわきまえない」という意味である。

法律を考えない、乱暴至極という意味である。



和尚的脑壳——没法(发)

和尚不留头发。运用“发”与“法”谐音,这里“法”指办法,“无法”也就是“没有办法”。

这则歇后语指对事物没有办法,没有能力找到解决问题的方式。

お坊さんの頭—仕方がない

お坊さんは髪がないから、「無髪」と言われる。中国語では、「髪」と「法」は発音が似ているので、「無法」になる。「無法」は仕方がないという意味である。

問題を解決する方法や能力がないことを言う。

黄鼠狼给鸡拜年——没安好心

黄鼠狼喜欢吃鸡,经常去农民家里偷鸡、鸭等家禽。一天黄鼠狼想吃掉鸡,就装模做样地去给鸡拜年,结果把鸡吃掉了。

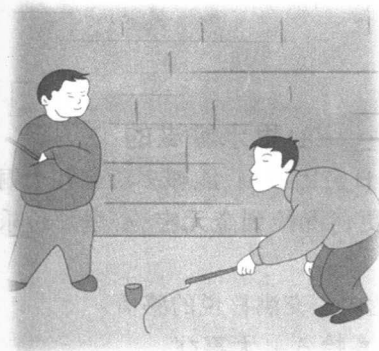
这个歇后语比喻一些虚伪的人,表面上很和善,实际上却是一肚子坏水。

いたちがにわとりのところに年賀にいく

一ろくな考えはもっていない

いたちは鶏を食べることが好きだから、よく鶏やあひるを盗む。ある日、いたちは鶏を食べたいので、わざとにわとりのところに年賀にいくふりをして、鶏を食べてしまった。

いつわりな心の人は善意のふりをするが、実は悪意を持っていることを言う。



贱陀螺——不打不转

陀螺是一种用木头制作的玩具,玩儿时用绳子缠绕,用力抽开绳子,使它在地上直立旋转,越抽打,转得越快。如果不抽打了,就会慢慢地停下来。

这个歇后语常用来形容某些人不施加压力就不那么听使唤了。

こま—まわさなければ回転しない

こまは木製のおもちゃである。糸をまいたこまをしごくともまは一本足で地面に立ち回転する。廻せば廻すほど速く回転する。まわさなければ、だんだん止まってしまう。

指導を受けなければ、何をしたらいいか分からない人を言う。